

2016年12月13日

米国フォーリン・ポリシー誌、電通の社員2名を「世界の頭脳100」に選出

米国のフォーリン・ポリシー誌（Foreign Policy magazine）が12月12日に発表した2016年「世界の頭脳100」（The Leading Global Thinkers of 2016）に、当社の社員2名、鈴木 瑛と木田 東吾が選出されました。両名が手掛けている、臓器移植の普及・啓発を訴求する「Second Life Toys」*プロジェクトが高い評価を得ました。

<https://gt.foreignpolicy.com/2016/?48bc61e167=>

「世界の頭脳100」は、その年に卓越したアイデアをもって社会課題の解決に貢献し、世界に影響を与えた革新的、創造的な100人をフォーリン・ポリシー誌の編集者が選出、毎年発表するものです。

過去の選出者には、バラク・オバマ米大統領、マーク・ザッカーバーグ氏、スティーブ・ジョブズ氏、ビル&ヒラリー・クリントン氏、フランシスコ・ローマ法王など世界のトップリーダーが名を連ねています。日本からは、伊藤穰一氏、村上春樹氏、安倍晋三氏など、政治・ビジネス・文芸などの分野で活躍している方々が選出されています。



<選出された2名について> 写真右から

- ・鈴木 瑛（すずき・あきら）：2007年電通入社、現在マーケティングソリューション局所属
- ・木田 東吾（きだ・とうご）：2007年電通入社、現在 CDC 所属

* 「Second Life Toys」は、大切なおもちゃを修復したい人と、それを修復してあげたい人（ドナー）をサイトで募集することで、臓器移植に関する理解を深める普及・啓発プロジェクトです。

詳しくは、<http://www.secondlife.toys/>をご覧ください。

以上